

第237回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成30年4月9日(月) 11:00~12:20

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
小笠原 伸 (副委員長)
君島 理恵
青木 敬信
篠田 裕次
新井 啓泰

(2) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (総務部課長)
高賀茂 沙緒里 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

3月27日(火曜日)夜7時から放送した「復興食堂 夢広場～想いのタスキを繋いで～」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

東日本大震災から7年が経った今年。日々、被災地への支援活動をしている「有限会社飛行船」専務の桶田さんの活動に密着し、復興食堂がオープンするまでをドキュメンタリー番組として制作。特別番組として放送しました。

番組自体は55分。番組をほぼすべて聞いてほしいというディレクターの意向で、本編には曲がかかっているが、今回は時間の都合上、曲・シングルをカットさせていただきました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：桶田さんと岩間さん、2人の想いが伝わってきて良い番組だった。

リスナーが途中から番組を聞いてもわかるように、ナレーションを重複させていたとのことだが、まったく同じことを言っている印象があったので、もう少し工夫があってもよいのでは。

ドアの音や農機具の音など、臨場感のある部分がよかった。もっと随所に使ってもよかった。

事業者：曲の後に、なるべくリスナーにもわかりやすく、かつ番組を途中から聞いてもわかりやすいよう配慮した。

委員：桶田さんは、新聞など様々なメディアに出ていて有名な方だが、実際に本人の声を聴くと印象が違う。ラジオの優れた特性を改めて感じた。

委員：スポンサーなしで、このような番組を作った FM 栃木の志を感じた。

内容も感動的で、実際に復興食堂へ行ってみたいと思った。

ただ、番組の制作について、粗雑というか洗練されていない部分があるように感じた。

委員：ナレーションを担当している鈴木さんは、慣れていない印象だった。

声がとてもいいが、言い回しが不自然な部分があった。

ナレーションの量が多かったのではないか。

委員：スタッフの方が桶田さんにインタビューをする部分があるが、聞き方が雑な部分があり、少し番組の雰囲気に合わせていなかった。

事業者：インタビューについては、アナウンサーではなく、取材・録音をしたディレクターが自ら質問をしたものである。

委員：桶田さんはこの番組全体を引っ張っていて、最後のコメントには感動した。

自分自身の体験なので、言葉に力があるのだと思う。

この番組がよいと思えるのは、企画はもちろんだが、桶田さんの力が大きい。

委員：桶田さんの話が大変魅力的で良かった。

飛行船の活動と桶田さんの意図・言葉をもう少しきちんと伝えてもいいと思った。

委員：桶田さんと岩間さんの絆は伝わってきたが、話の中心がドキュメントなのか感動の話なのか、ビジネスの話なのかぼやけてしまっていたのが少し残念だ。

委員：タイトルの「想いのタスキを繋いで」は、「タスキ」よりも「のれん」のほうがよかったのではないか。

事業者：当初の案は「のれん」だったが、タイトルで番組の内容を悟られないように、あえて「タスキ」に変更した。

委員：震災の関連番組はテレビもラジオもトーンが難しい印象。

震災については、これから新しい切り口を探し続けていかなければならない。ただ、そこにあるものは決して美しいストーリーばかりではないということが、今回の番組が示した大きな部分だったと思う。

想いだけでは復興は難しいという現実をそろそろ我々も理解していく。そのためには FM 局というものも、厳しい側面を伝えていっていいのかもしれないと感じた。

委員：お店のウェブの紹介や、検索キーワードを入れると、鹿沼にこういった場所があると知ることができて、行ってみようとなる。それが社会貢献の一環になるのでは。

委員：震災から7年。だんだんと人々の記憶から遠ざかってしまっている気がするので、FM 局でこういった番組を作っていただくことが社会的にも意味のあることだと思う。

私たちの知らないところで、ほかにも色々な形で復興の支援をしている人がいると思うので、そういった方にもスポットを当てて、FM ならではの視点で取り上げていただければと思う。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を5月7日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 4月29日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし